

登録コード	HM122300	開講年度	2026			
授業題目	精神科治療学特論				担当教員	鷲塚 伸介 他
英文授業名	Psychiatric Therapeutics				副担当	本田 秀夫・篠山 大明
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加					
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				精神科の治療について概括して説明できるようになる。	
(2)詳細 /Detailed information	精神科治療学を熟知することが質の高い臨床研究を行うためには欠かせない。現在の精神科臨床において一般に行われている治療法の講義を通じて、その実際を理解する。					
(3)授業の概要 /Overview of course	精神療法・薬物療法・精神科リハビリテーションなど、精神医療で行われる治療の概要について講義を行い、各疾患の特徴に合わせた治療法の適応について学ぶ。					
(4)授業計画 /Course plan	オムニバス方式 精神科治療学総論について講義し、精神医療の輪郭を把握する。【鷲塚伸介 / 第1回～第2回】 様々な精神療法について講義し、その適応や倫理的注意点などを理解する。【本田秀夫 / 第3回～第9回】 薬物療法を始めとした生物学的治療について講義を行う。【篠山大明 / 第10回～第15回】					
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	全ての授業終了後に、授業の内容に関連したレポートの課題を与える。 精神科治療学の基本が理解できており、疾患や病態に応じて治療法をどのように選択するのか判断できる力が身についているかをレポートで検証する。レポートの採点基準は以下のとおり。 精神科の治療にどのようなものがあるかを概括できれば可、さらに精神療法の種類と施行基準や注意点を説明できれば良、加えて薬物療法の概論を説明できれば優、これらを臨床でどのように応用するかまで考察できれば秀とする。					
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	パソコンを用いてレポートを作成し、メールを用いて提出することが可能な環境を準備すること。 参考書は講義中に随時指示する。従前の講義と連関させて授業を行うので、復習を欠かさないこと。					
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	オフィスアワー 毎週火曜日12：15～13：00					
(8)授業の形式 /Course format	講義形式。講義では臨床課題も提示し受講生に考えさせる時間を設ける。					